



基準階貸床面積は約2,370㎡(写真は16階)。システム天井には白色(色温度4000K)の一体型LEDベースライト フラットパネルタイプが採用された

## 天神ビジネスセンター

### “福岡をもっと面白く”する天神ビッグバンによる規制緩和第1号プロジェクト

福岡市は博多駅周辺や福岡空港、博多港といったゲートウェイを連携させ、核となる中心市街地で都市改造に取り組んでいる。天神交差点から半径約500mの約80haで行われているプロジェクト「天神ビッグバン」では、航空法高さ制限の特例承認や市独自の容積率緩和制度などを組み合わせ、民間活力を最大限に引き出しながら、耐震性が高く感染症にも対応した先進的なビルへの建替えを促す。その規制緩和第1号が地上19階、地下2階の「天神ビジネスセンター」。福岡地所株式会社 建設部長 田代 剛氏は、「当社のミッションは“福岡を

もっと面白く”。不動産開発を通して福岡の都市力を高め、魅力を上げていくことで、福岡をより多くの人や企業を惹きつける都市にしたいと考えています。福岡中心部ではグローバルな水準のオフィスビルが不足していることが課題でした」と語る。2～19階の総貸床面積は約39,280㎡。天井高2,800mmの無柱空間には、一体型LEDベースライトフラットパネルタイプが採用され、入居者が照明環境をカスタマイズできるように、照明制御システムを導入。人感センサや窓側の昼光センサにより消費電力を削減し、環境性能向上の一翼を担う。なお、このビルは、「CASBEE福岡」Aランク、「DBJ Green Building認証」\*では4つ星を取得している。

\*日本政策投資銀行により創設され、日本不動産研究所が認証を行う、環境・社会への配慮がなされた不動産への認証制度



**天神ビジネスセンター**  
所在地 / 福岡県福岡市中央区天神  
事業主 / 福岡地所株式会社  
基本設計 / 株式会社日本設計  
実施設計・施工 / 前田建設工業株式会社  
電気工事 / 株式会社きんでん  
建築デザイン / 重松象平(OMA)  
竣工 / 2021年9月

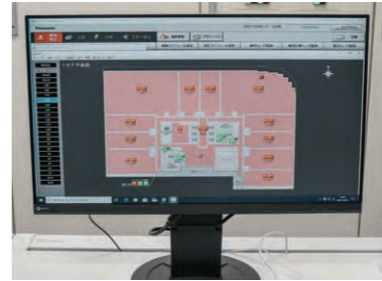
©Toshihisa Ishii



パネルにプリズム加工を施すことで、従来ルーバータイプと同等のまぶしさ制御を実現



窓際の器具には昼光センサを設けて消費電力を削減



防災センターに設置された照明制御システム操作卓



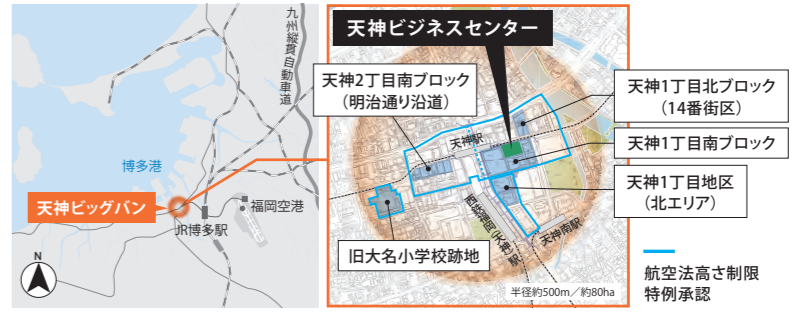
各階のEPSに設置されたライトマネージャー Fx



新しくデザインされた明治通りの街路灯



地下鉄天神駅のデジタルサイネージ



- 主な納入設備
- 一体型LEDベースライト フラットパネルタイプ
  - 照明制御システム FreeFit MX
  - 非常用放送設備
  - ネットワークカメラ
  - ライトマネージャー Fx
  - ネットワークカメラ

ウェブサイトでもご覧いただけます

